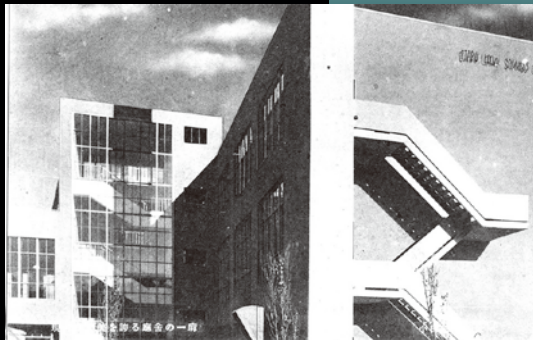




旧小樽地方貯金局（現市立小樽文学館・美術館）

一原有徳は、現在、市立小樽美術館となっている旧小樽地方貯金局の職員として定年まで勤務しました。自著『脈・脈・脈』で、この建物をかくれた第一級の現代建築とし、存続が危ぶまれた際には自ら行動を起こし保存を訴えました。この建物の特徴は、階段の総ガラス、広い玄関ロビー、外壁上部に取り付けられた細い英文字などにあり、白い壁にグレーの他は使わない色彩と線の単純さは小坂建築独特の美しさだと語りました。さらに生前最後の個展では、「私の版画歴はこの小坂建築の中でのみ成長したといつてよい」とまで述べています。

当館は、一原の志を受け景観地区「北のウォール街」において、この小坂建築旧小樽地方貯金局を維持し、今後も活用してまいります。

小坂秀雄（1912—2000）は1935年東京帝国大学を卒業後、日本の建築界をリードした通信省の建築に入省します。当時の通信省の建築家たちは、燃えるような情熱でそれまでの古典様式を破棄し、全く新しい造型を生み、初めて日本に近代建築を実現することに成功しました。小坂はその只中において、理論的には合理主義、機能主義及び国際主義を受け継いで、生涯自身の根幹とした人です。代表作は、愛知県文化会館（1958）、外務省庁舎（1960）、ホテルオークラ（1962）などが挙げられます。戦後間もない1951年、小坂は優れた建築家を讃えるための歴史ある「日本建築学会賞」を受賞。旧小樽地方貯金局の建設は、その受賞の翌年にあたり、その時代の日本のトップの建築家が設計した貴重な建物であることがわかります。

本展は、建築史家 駒木定正氏の講演会「小坂秀雄とモダニズム建築」（2019年7月6日）に基づき、小坂秀雄の業績、通信建築の様式を紹介し、それらが一原にどのような影響を与えたかを見ていくものです。

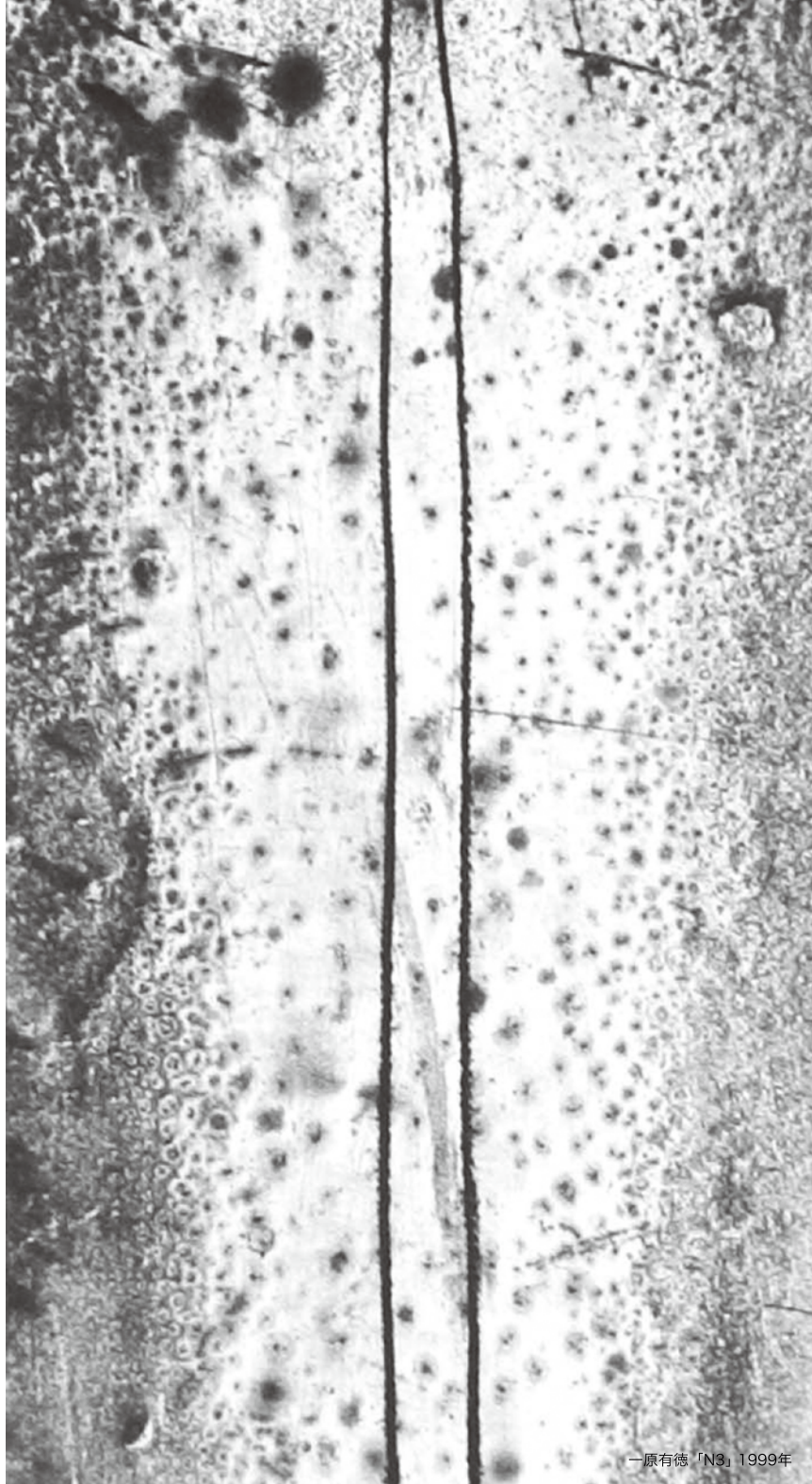
小坂秀雄

1912年 東京日比谷公園内松本楼に生まれる
1935年 東京帝国大学工学部建築学科卒業
東京松田建築事務所勤務
1937年 通信省経理局営繕課
1946年 通信院営繕部設計課長
1949年 郵政省大臣官房建築部設計課長
1951年 「東京通信病院高等看護学院」
昭和25年度日本建築学会賞受賞
1952年 外務省庁舎設計競技実施案入選
1953年 愛知県文化会館設計競技一等入選
1954年 郵政省大臣官房建築部長
1960年 皇居造営建設委員会委員
1963年 (株)丸ノ内建築事務所代表取締役
1970年 前島賞受賞
1996年 (株)丸ノ内建築事務所名誉会長
2000年 逝去 享年八十七歳。



企画協力：駒木定正（小樽市文化財審議会会長）

機能美の勝利 小坂秀雄の建築と一原有徳



一原有徳「N3」1999年

2020. 2.29(土) - 7.12(日)

市立小樽美術館3F 一原有徳記念ホール

- 開館時間 9:30～17:00（最終入館は16:30まで）
- 休館日 月曜日（5/4を除く）、3/24（火）、4/30（木）、5/7（木）・8（金）・12（火）・13（水）
- 観覧料

①2/29（土）～3/15（日）

一般600（480）円／高校生・市内高齢者300（240）円／中学生以下無料

②3/17（火）～5/22（金）

一般300（240）円／高校生・市内高齢者150（120）円／中学生以下無料

③5/23（土）～7/12（日）

一般700（560）円／高校生・市内高齢者350（280）円／中学生以下無料

※①③は特別展料金 ※1階「中村善策記念ホール」、2階「企画展示室」とあわせてご覧いただけます。

※（ ）内は20名以上の団体料金



市立小樽美術館
otaru city museum of art

〒047-0031 小樽市色内1-9-5
Tel:0134-34-0035 Fax:0134-32-2388